

1 号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和4年5月17日（火）
招集の場所	議員控室
開会	午後1時13分
出席者	委員長 柳田 政喜 副委員長 伊藤 牧世 委員 平吹 俊雄 委員 吉田 二郎 委員 村松 秀雄 議長 鈴木 宏通
欠席者	委員 鈴木 恵悦
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 齊藤 美穂
協議事項	・所管事務調査について
その他	なし
閉会	午後3時08分

2号様式 協議の経過

	開会 午後1時13分
柳田委員長	時間となりましたので、ただいまより第7回教育、民生常任委員会を開催させていただきます。座って進めさせていただきます。 本日、鈴木恵悦委員が体調不良のため欠席するとの報告がございました。本日5名の委員が出席しておりますので、委員会は成立をいたしております。 皆さん農作業等忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。田植えのほうも随分進みまして、これからじっくり委員活動のほうに集中していけるかなと思っているところでございますので、協力のほうよろしく願いいたしたいと思います。 さっそく、協議事項に入ってよろしいですか。本日の会議事項は、所管事務調査についてでございます。前回ですね、皆さまのほうに所管事務調査のほうで行きたい研修場所がありましたら、研修内容を含め提案をしていただけたらとお願いしていたところでございます。皆さんからの提案のほうをいただきたいと思います。順番にお聞きしたいと思いますよろしいですか。 (「はい」の声あり) いつも一番最初ですみませんが、平吹委員からよろしくお願いします。
平吹委員	令和元年かな改選前の議員と「健康な体力づくり対策」ということで、八戸に行って調べたんですね。かなり充実しているということで、その後どのように変わったのかなということを見たいと。あと県内の栗原市も結構、健康事業に力を入れているような感じしてました。あと、遠いところで福島では健康寿命宣言という全市町で宣言をしているようで、特に南会津が健康寿命に関する事業をしているので、その辺興味深かったです。あまり深くは調査しませんでした、この辺どうかなと思いました。以上です。
柳田委員長	ありがとうございます。続きまして、吉田委員お願いします。
吉田委員	前回宿題をあてがわれましたので、それに取り組もうと思ってですね、健康寿命の全国ランキングをネットなんだけど検索してみました。ほとんど1歳と変わらずにランキングにでてきてるんです、それではあんまりあてにならないなと思いました。ただ山梨県とか愛知県とか埼玉県とか上位ランクにありましたので、目を通しました。宮城県も仙台市とかいいランクにいるんだけど、目についたのが長野県でACEプロジェクトという健康寿命世界一を目指して取り組んで5年目という、長野県は平均寿命はトップのほうだけど、健康寿命でみると下位になっているので5年間で健康寿命世界一を目指して頑張りましょうという取り組み。本町でも同じようなことを調査してると思うけども、生活習慣病、長野県では脳卒中が全国的に高いということで生活習慣病に目を向けて、そこから頑張っていきましょ

	うという取り組みだったものですから、本町のことも聞いてみないとわからないんだけど何か特別な取り組みをしているんじゃないかと思いました。以上でございます。
柳田委員長	ACE プロジェクトって後で内容調べてみたほうがいいかもしれないですね。ありがとうございます。 村松委員のほうからございますでしょうか。
村松委員	私は、高齢者の健康ということでフレイル事業を厚生労働省をインターネットで検索して、事例を見ました。主に市の事例がほとんどだったのでいろいろ取り組み項目があって10項目くらいのところで半分半分でやっている所を考えました。千葉県柏市と神奈川県大和市ですかね。ただ高齢化率からみるとまだ20%台なので、本町としては30%超えてる高齢化率からするとなかなか、すぐには参考にはならないのかなという感じはするんですけれどもね。高齢化率から言えばね。厚生労働省の推奨事業、補助事業の中でやっていることで考えてみました。以上です。
柳田委員長	具体的な事業の内容とかは。
村松委員	千葉県柏市はフレイル事業に対する専門医の配置とか地域ごとの課題分析、また保健事業への接続、通いの場への関与、通いの場の拡充、参加の勧奨という形でやっております。 神奈川県大和市は専門職の配置、情報の把握、地域課題を分析しております。バランスよく行っている柏市と大和市がいいのではないかと感じております。
柳田委員長	ありがとうございます。 副委員長のほうからありますか。
伊藤副委員長	私のほうでは、まず1つ目は静岡県西伊豆町の取り組みということで、前回フレイル事業等の取り組みでいろいろな賞を受賞しているところの中から、自治体関係でみていきました。その中で西伊豆町は取り組みが早かったのが成果として形ができていて、実際、介護認定者数及び保険給付費の推移というものを示していて、そちらが年々下がってきているという、成果が確実に上がっているというデータが出ているところなので見える化している。町の規模も7,872人とそんなに大きくはないけれど、確実に成果を上げているというところでどうかなと思いました。内容としてはラジオ体操だったり介護保険についての取り組みを出向いて行って、独自の紙芝居などで説明したりしている。地域ケア会議とか支え合い西伊豆というところで移動支援を行っていたり、オンライン帰省とか健康マイレージとか取り組んでいて、その結果としてアンケートを取ったりデータを取っていて成果を出しているというところです。 もう1件が群馬県の渋川市というところです。こちらは受賞内容として介護予防サポーターと民生委員が相互に影響し合い広がる地域の介護予防活動というところで、民生委員活動と介護予防活動というのを上手くマ

	ッティングさせているんですが、その取り組み事例として厚生労働大臣賞優秀賞を取っているんですけど、ホームページで見ると、シニア筋力ぐんぐん教室とか口腔ケアとかを含んでいるずっと食べ体操とかフレイル予防の取り組みをわかりやすく取り組みやすいような努力をしているところではないかという印象を受けました。難しい漢字とかを並べて説明するのではなく高齢者向きの対応をしているように感じましたのでその2箇所を挙げてみました。以上です。
柳田委員長	ありがとうございます。 休憩いたします。
	休憩 午後1時46分 再開 午後1時46分
柳田委員長	再開いたします。 それでは、私のほうから候補は皆さんと一緒にいっぱいあるんですけれども調べて気になったところから言いますと、東京都足立区の地域における見守りネットワークという形の部分です。いろいろな事業者の方、専門相談員や民生委員に協力を求めて安全な見守りネットワークを作っているみたいです。 他には新潟県のほうでは地域の茶の間という、有償の助け合い活動みたいな形で始まったみたいですけれども、場所を開設してそこに来ればみんなと一緒に話しながら食事ができる、車いすの人、認知症の人、体の不自由な方や小さい子どもからお年寄りまで、いつでも来て参加できる場所の提供をしているようです。 それから、秋田県仙北市角館町の老人クラブの連合体ではわいわいランチという形で、昼食会を設けている。高齢者を呼んでお食事を食べてもらうのではなく、高齢者の方々が主体となって食事を作って提供する、もてなす側になってもらって小学生だったり父兄だったり、いろいろなクラブの役員だったりそういう人たちと一緒に食事をして繋がりを作って、みんなで見守りをしていくというようなことを行っているようです。部分的なものになってしまうのですがそういうところを見に行くのもいいのかなと思ったところでございます。私からは以上です。 今皆さんからいただいた、情報の中からある程度絞っていきたいと思いますので、これから休憩して進めさせていただきたいと思います。 休憩いたします。
	休憩 午後1時48分 再開 午後1時56分
柳田委員長	再開いたします。 伊藤副委員長より近場での研修先の提案があるそうなのでそちらの提案をお願いします。
伊藤副委員長	石巻市にカーシェアリング協会というのがあって、それを上手く活用し

	ボランティアを通して高齢者の外出というところを手助けしているという事例がありましたのでその辺もいかがかと思いました。
柳田委員長	カーシェアリングだとテーマから離れてしまうので、カーシェアリングをすることによって高齢者の通院やイベントへの手助けができるということですのでよろしいですね。（「はい」の声あり）わかりました。 再度休憩いたします。
	休憩 午後１時５８分 再開 午後２時３４分
柳田委員長	再開いたします。 休憩中に皆さんから提案のあった各候補地に関しまして、意見を交わしたところでございます。その結果、まず第１候補として静岡県西伊豆町、第２候補として群馬県渋川市ということでこの２つのアポイントを取れたほう、第１候補のほうから取っていくという形にさせていただきたいと思います。 今回は２泊３日の研修になっておりますので、近場での候補地としまして関東周辺でもう１カ所、内容をもう少し精査したうえで決めていきたいと思います。こちらのほうは委員長、副委員長に一任いただいてよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）では、それで決定させていただきたいと思います。その結果につきましては、次回の常任委員会のほうで報告させていただきたいと思います。 それでは会議事項の１）所管事務調査については以上でよろしいですか。（「はい」の声あり） それでは４のその他に入る前に次回の委員会の日程調整をさせていただきたいのですが。６月会議に議長に所管事務調査の報告をしたいと思っておりますので、６月の第１週が最終になると思います。それまでの間に事務局において、アポを取ってもらい研修先を決定していきたいと思います。来週、再来週この間には１度、３０日の週、この週に１度開きたいと思うんですけど。 一旦休憩いたします。
	休憩 午後２時３７分 再開 午後３時０６分
柳田委員長	再開いたします。 委員全員で検討した結果、第１候補西伊豆、第２候補渋川市で事務局にアポを取っていただくことになりました。研修の日程は７月の４日の週ということでアポを取っていただきます。２泊３日ですのもう１つの候補地は関東地域で委員長と副委員長が内容を調べたうえで決定させていただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。（「はい」の声多数あり）ありがとうございます。 それと次回の委員会の開催につきましても、休憩中に皆さんと検討させ

	ていただきました。次回の委員会につきましては6月7日午後1時30分から開催させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。 本日の会議事項につきましては以上になります。その他として事務局から何かございますでしょうか。（「ありません」の声あり）それでは本日の会議は以上としたいと思いますますがよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）それでは最後に副委員長のほうから挨拶をお願いします。
伊藤副委員長	大変お疲れ様でした。所管事務調査、先進地の視察に関してもスムーズに決まっていきそうな感じがします。あとは先方の都合がありますけれどもいい状態で研修に望みたいと思っております。本日は大変お疲れ様でした。
	閉会 午後3時08分

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 4年 5月17日

教育、民生常任委員会

委員長 _____